学校番号	３２２

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	２単位	年次	３年次 （体育科）
使用教科書	政治・経済（東京書籍）						
副教材等	最新　政治・経済資料集　新版						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 教科書や資料集、各種メディア資料等を用いた知識、教養の習得
② 政治や経済の仕組みについて適切に理解できるように教材を精査し提示する。
③ 様々な課題を各自が発見し、主体的に自分の考えをまとめるための発表を行う。
④ 現代社会の政治的分野についても確認、復習をしながら理解を深めていく

2　学習の到達目標

① 現代社会をさらに発展させ、現代の政治・経済・国際社会などを中心に客観的・論理的に理解する力を身につけさせる。
② 主体的に考察させ，公正な判断力を養い，良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代の政治･経済の仕組み､国際関係に対する関心を高め､意欲的に課題に取り組むとともに､国家･社会の民主的な社会生活の実現と推進について客観的･論理的に考察しようとしている。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる事柄から課題を見つけ出し、多面的･多角的に考察し､社会情勢の変化や様々な立場､考え方を踏まえ公正に判断して､その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係にかかわる諸資料を SNS など様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治、経済、国際関係に関する基本的な事柄や､本質､特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。
評価方法	ワークシート レポート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート 調べ学習	定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	現代の政治	・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の基本原理 ・日本の政治機構 ・現代政治の特質と課題 ・現代の国際政治	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ 	○ ○ ○ ○ ○	a: 民主主義政治に対する関心を高め、意欲的に課題に取り組んでいる。 b: 世界の国々の政治体制を学び、現代の民主政治にかかわる課題を見出し、多面的・多角的に考察し、現代社会の課題に対するその過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 現代の政治にかかわる情報や資料を収集し、適切な情報を適切に選択して、効果的に活用している。 d: 現代の政治に関する基本的な仕組みや事柄、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解している。	ワークシート 定期考査 レポート 小テスト

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	現代の経済	・現代経済の仕組み ・日本の経済と産業発展 ・社会福祉と日本経済の課題 ・国民経済と国際経済	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 現代経済に対する関心を高め、意欲的に課題に取り組んでいる。 b:日本経済にかかわる事柄から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 日本経済と産業構造にかかわる資料を新聞やニュースを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、理解を深める。 d: 国際経済に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 レポート 調べ学習

3学期	現代社会の諸課題	・日本社会の諸課題 ・国際社会の諸課題	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a: 日本を含めた国際社会の諸問題に対する関心を高め、正しい理解とさらなる探求心を養っていく。 b: 日本社会と国際社会の諸問題にかかわる事柄からい共通の課題を見出し、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。 c: 日本を含めた国際社会の諸問題に関する資料を様々なメディアを通して収集し、効果的に活用している。 d: 日本を含めた国際社会の諸問題に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現 c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点　　・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。